

学校全体で取り組む道徳教育の必要性

「なぜ、今、道徳教育が重要なのか」

道徳教育に関する動き

道徳の時間



特別の教科 道徳
「道徳科」

《社会的背景》

- ◆ 「いじめ」問題への対応。
- ◆ 高度化・複雑化した社会への対応。

《道徳授業の課題》

- ◆ 他教科に比べ、軽んじられているのではないか。
- ◆ わかり切ったことを発言させている授業。
- ◆ 心情理解のみに偏った形式的・受け身的な授業。

(H27 学習指導要領解説)

学校全体で取り組む道徳教育の必要性

「なぜ、今、道徳教育が重要なのか」

「教育振興基本計画」

第4章 基本的方向1

豊かな心の育成

内面に根ざした道徳教育の推進による生命の尊重や規範意識の涵養

「杜の都の学校教育」

重点事項

豊かな心の育成

～いじめ防止対策の

徹底～

これからの道徳教育

「どんなことが求められているのか」

基本的な考え方

「特定の価値観を押し付けたり、主体性を持たずに言われるがままに行動するよう指導したりすることは、道徳教育が目指す方向の対極にあるものと言わなければならない。」

「多様な価値観の、時に対立がある場合を含めて、誠実にそれらの価値に向き合い、道徳としての問題を考え続ける姿勢こそ道徳教育で養うべき基本的資質である。



(H27 学習指導要領解説)

児童生徒が**主体的に考え続ける**
道徳教育の推進を目指す

これからの道徳教育

「どんなことが求められているのか」

授業面の転換

発達段階に応じ、例えば、「正義」とは何か、「権利と義務」とは何だろうといった、答えが一つではない課題を、一人一人の児童生徒が道徳的な問題と向き合うことができる授業への質的な転換を図る。



「考え、議論する道徳」への転換
(内面的な資質・能力を主体的に養う指導へ)

これからの道徳教育

「どんなことが求められているのか」

「考え，議論する道徳」

自分との関わりで
主体的に
多面的・多角的に考える

多様な考え方，感じ方と
出合い交流する
議論する



「考え，議論する」
ことにより・・・

自らを振り返って，
成長を実感できる



他者と対話したり協
働したりする中で，
新たな価値を発見・
創造する

これからの道徳教育

「どんなことが求められているのか」

指導方法の工夫

- ◆ 「考え、議論する道徳」授業への指導転換
- ◆ 多様な方法を取り入れた指導の工夫

- 読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習
- 問題解決的な学習
- 道徳的行為に関する体験的な学習
 - ・ 体験的行為や活動そのものを目的として行うのではなく、それを通じて学んだことを生かして考えることが大切。
- 複数時間を用いた指導，重点的な指導
- 現代的な課題に関する指導
 - ・ いじめ防止，情報モラル，社会の持続可能な発展，社会参画等